

# 私立高校の先生にとっての NotebookLM

—「こんなことができる」がすぐ伝わる活用例—





# 世の中のAIとは違う、「自校専用」のアシスタント

## 一般的な生成AI



(世の中の膨大なデータから推測して答える)

## NotebookLM



(先生が入れた自校の資料・教材だけから正確に答える)

私立高校ならではの「独自の教材・方針・行事」を読み込ませることで、  
“うちの学校らしい”資料作成を支える専用の裏方になります。



# 資料を入れるだけで、授業の「たたき台」が完成する



「何から考えるか」で迷う時間を劇的に減らします。たとえば「確認問題を5問出して」といった依頼にも、資料ベースで即座に答えます。



# 分厚い資料を、全部読む前に「全体像をつかむ」



長文の文書も、まずは必要なところだけを把握。時間のない職員室での情報処理を圧倒的にスピーディにします。



# 校務の文章づくり、「伝わる説明」の土台づくり



私立特有の丁寧なトーンや文脈を保ったまま、  
白紙から文章を悩んで書く時間をなくします。



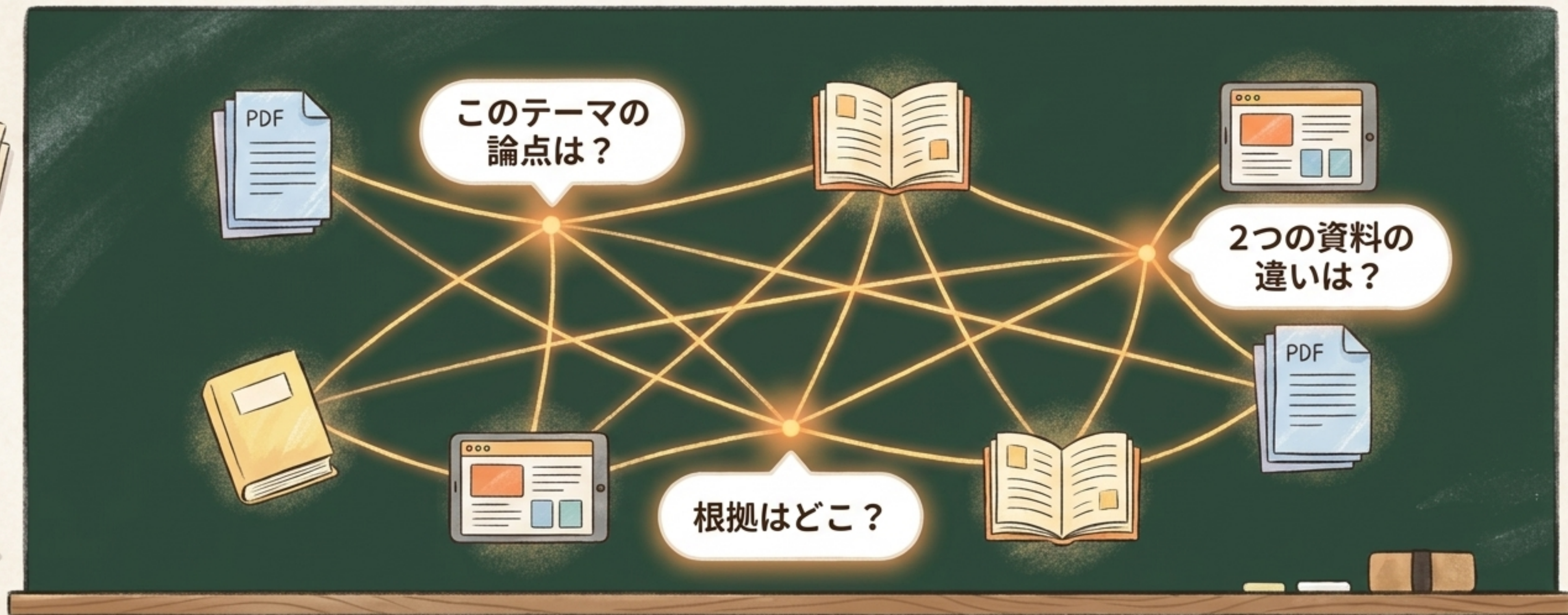
# バラバラなアンケートや振り返りを、瞬時に分析



生徒の声を素早く整理し、次回の授業改善や報告資料への落とし込みをスムーズに行えます。



# 探究学習の有能な「資料整理係」



複数の文献を横断して質問しながら、生徒と一緒に考察を深めるための強力なサポート役になります。



# 個別学習と、レポート・プレゼン指導の補助役に

## 質問への対応



もっとやさしく  
説明して

## 資料作成の支援



- 構成の考え方
- 伝わる見せ方

教科書や「良い発表資料の例」を入れておけば、生徒の疑問への回答や、表現力を伸ばすための構成づくりをアシストできます。



# ただし、ハンドルを握る（最終判断）のは先生です

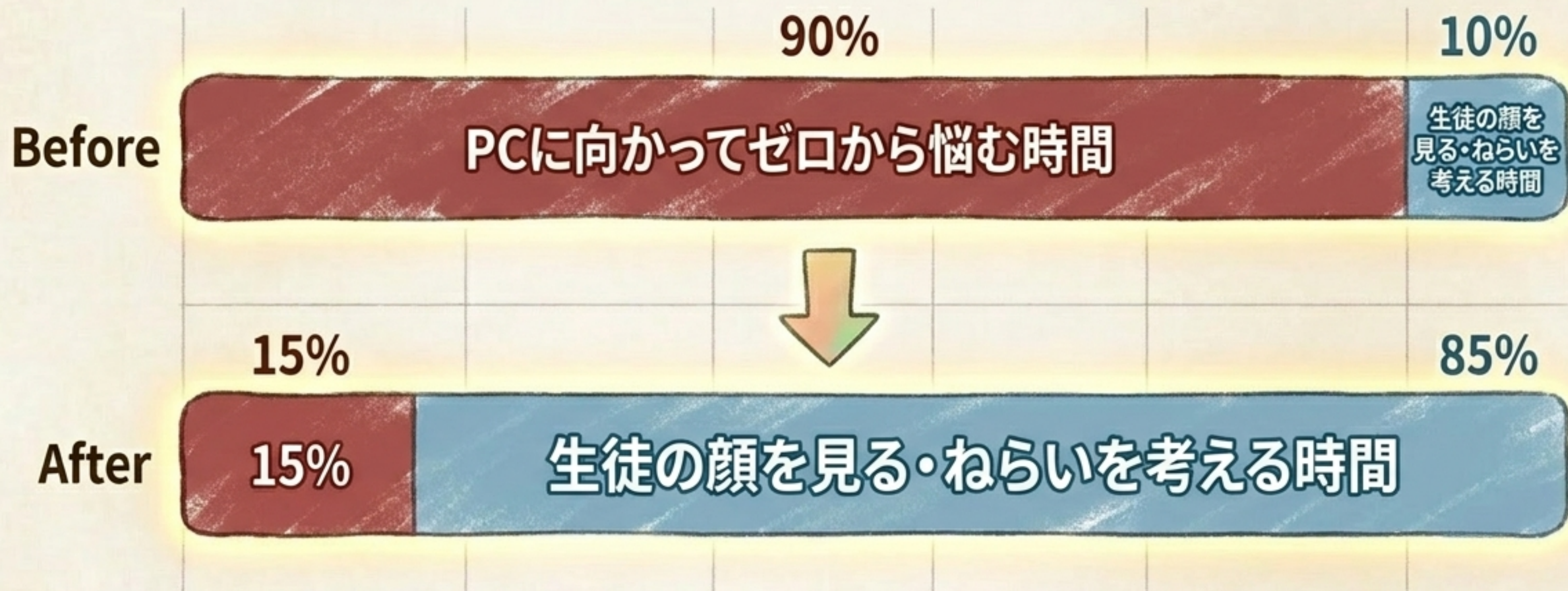
【下書き・情報の整理】

【最終判断・配慮】

NotebookLMは考える材料を整理し、準備を速めるのが得意です。しかし、「授業のねらい」「表現の適切さ」「生徒への配慮」を最終確認するのは、先生の専門性です。



# 先生の仕事を「奪う」のではなく、「生徒と向き合う時間」を増やす道具



忙しい私立高校の現場ほど、効果は絶大。作業時間を圧縮し、教育の質を高めるコア業務に時間を再配分できます。



# まずは「小さなタスク」から、 試してみませんか？

1つの  
単元の準備

1つの  
学年通信

1つの  
探究テーマ

身近な資料で1回試すだけで、  
「自分の仕事のどこで使えるか」  
がはっきりと見えてきます。  
今日から、新しい助手を  
職員室に迎えてみましょう。